

国立曽爾青少年自然の家 バーディ＋一般		2013	2014	2015		こくりつそにせいしょうねんしぜんのかいえ		2013	2014	2015	
		9月	9月	9月		バーディ＋一般		9月	9月	9月	
		15-16	14-15	21日	22日			15-16	14-15	21日	22日
		天候 雨	晴曇	曇り	晴れ	てんこう		あめ	はれ・くもり	くもり	はれ
4	ヤマドリ					476	オオムシクイ				
5	キジ	○	○			477	メボソムシクイ				
74	キジバト	○	○			479	エゾムシクイ				
78	アオバト					480	センダイムシクイ				
127	カワウ		○			485	メジロ	○	○	○	○
139	ゴイサギ					492	オオヨシキリ				
144	アオサギ					499	セッカ	○	○	○	○
146	ダイサギ					502	ゴジュウカラ		○		
148	コサギ					503	キバシリ				
184	ジュウイチ					506	ムクドリ				
185	ホトギス					508	コムクドリ				
187	ツツドリ					512	カワガラス				
188	カッコウ		○			514	トラツグミ				
192	アマツバメ					542	ノビタキ				○
339	ミサゴ					549	イソヒヨドリ				
340	ハチクマ	○	○			552	エゾビタキ	○		○	○
342	トビ	○	○		○	553	サメビタキ				○
356	オオタカ					554	コサメビタキ	○			
357	サシバ					558	キビタキ				
364	クマタカ					561	オオルリ	○			○
383	カワセミ					569	スズメ				
385	ヤマセミ					573	キセキレイ	○	○		○
390	コゲラ		○	○	○	574	ハクセキレイ			○	
393	アカゲラ					575	セグロセキレイ	○			
397	アオゲラ	○	○		○	587	カワラヒワ	○			
401	チョウゲンボウ		○			602	イカル		○		
412	サンショウクイ	○	○			610	ホオジロ	○	○	○	○
418	サンコウチョウ					614	ホオアカ		○	○	
420	モズ	○	○			32	カルガモ				○
427	カケス	○	○	○	○	358	ノスリ			○	
435	ハシボソガラス					392	オオアカゲラ			○	
436	ハシブトガラス	○	○	○	○	441	コガラ				○
442	ヤマガラ		○		○						
443	ヒガラ		○		○						
445	シジュウカラ		○	○	○						
452	ヒバリ	○	○								
457	ツバメ	○	○	○	○						
459	コシアカツバメ	○	○	○	○	*	コジュケイ		○		
461	イワツバメ		○	○	○	*	ドバト				
463	ヒヨドリ	○	○	○	○						
464	ウグイス		○	○	○					18	24
465	ヤブサメ							22	31	28	
466	エナガ		○	○	○						
							合計				

曾爾高原のトンボ科のトンボ



アキアカネ

曾爾高原に多くいるアカトンボはアキアカネです。

このトンボは気温30度を超えると死んでしまうので夏場は高原等に避難しています。

最近地球温暖化で秋でも気温が下がらずなかなか生まれた里の田んぼに帰れません。

近年田んぼの変化もあり極端に数を減らしています。



ナツアカネ

曾爾高原ではほとんど見られませんが

ナツアカネはアキアカネによく似ています。

区別するには捕まえて胸の模様を見ます。

3本ある線の真ん中の模様が平に切れているのが

ナツアカネ、とがって切れているのがアキアカネです。

またオスが顔が赤いのもナツアカネです。



ウスバキトンボ

曾爾高原でも確認されているウスバキトンボです。

このトンボは南方系のトンボで冬を越せません。

ですから冬には全て死滅してしまいます。

毎年沖縄以南の熱帯地方から飛んできます。

アキアカネと逆で地球温暖化で冬を越すことが

できれば大量に数を増やすこととなります。



ノシメトンボ

アカネ属の最大種のノシメトンボです。

移動能力も高く里山から高山まで見られます。

左の写真のようにトンボ科のトンボは主に

体を水平にしてとまります。

ただし、トンボ科のウスバキトンボは写真の通り

ヤンマ科のトンボのようにぶら下がってとまります。